



11月に入り、急に肌寒くなりました。イチョウの木にぎんなんがたくさん実っています。秋が深まっています。子供たちは、16日のぎんなん祭りを楽しみに準備を進めています。今年も保護者様、地域の皆様の参加をお待ちしています。是非、多くの方に足を運んでいただければ、と存じます。

他の人から学ぼう 《協働すること》について考える

突然ですが、問題(A~C)です。

この中で、仲間に入らないものは何か、皆さんなら、これらを比べてどういう理由で分けますか。

A	アイスクリーム ノート ランドセル えんぴつ	食べ物か文房具か →アイスクリーム 表記が平仮名か片仮名か →えんぴつ
B	ほうちょう バスタオル まないた フライパン	台所用品かそうでないか →バスタオル
C	オレンジジュース りんごジュース トマトジュース パインジュース	3文字か4文字か 野菜か果物か →オレンジジュース →トマトジュース



D	花火 飛行機 ティッシュ クレヨン ふうしゃ	扇風機 ろうそく マッチ ヨット 自転車	ヘリコプター 懐中電灯 かざぐるま 紙ふうせん
---	---	---	--

それでは、D の問題はどうでしょう。この問題は仲間に見付けるのではありません。
3つ 4つ 5つ の仲間を見付けてください。

- ◆「扇風機」「ヘリコプター」「かざぐるま」「ふうしゃ」 …回転するもの
- ◆「ヘリコプター」「飛行機」「ヨット」「自転車」 …乗り物
- ◆「花火」「ろうそく」「懐中電灯」「マッチ」 …光に関係あるもの

自分が考えたことと違う考えにふれると、意外性を感じ、とても刺激を受けるものです。集団で学ぶ面白さがここにあります。学校では、友達との学び合いの中で、同じところ(共通点)を見付けたり、違いを見付けたり、分類したりする力を大切な力として育てています。分けることは「分かること」とも言われます。

学級の友達と、あるいは、三小連合や四小連合の友達と一緒に学ぶことを、子供たちはどう受け止めているのでしょうか。同じ目標をもって一緒に活動することを《協働》と言います。話合いの中で他の人の意見を聞くと、刺激を受けますし、面白さを感じるものですね。

よく知った上阿多古の友達とのやり取りは、気を遣うことも少なく、話しやすいものだと思います。でも、いつもと違う相手と、やり取りすることにも、チャレンジしてほしいと願っています。そうすることが、たとえちょっと苦手だなと思っても、です。

上阿多古のよさを知るのは、よその土地のことを知った時だと思います。比べられるからです。比べると、同じところ(共通点)を見付けたり、違いを見付けたり、分類したりすることができます。前述の話につながります。やっぱり、大切なことなのです。

子供たちに、上阿多古のよさ、そして、上阿多古の人々のよさをもっと実感させるためにも、学校では、上阿多古以外の世界のいろいろな《人・もの・こと》とも、関わっていく(協働する)ような仕掛けを考えていきたいと考えています。

